

3 当別水源の森



1. 森林の状況

面積: 15,256ha

標高: 200～1,100m

森林の種類: 人工林20%天然林80%

主な樹種: ミスナラ・イタヤカエデ・トトマツ・アカエゾマツ・カラマツ・シラカンバ・ダケカンバ(針葉樹20%広葉樹80%)

林齢: 1～120年

制限林の指定:

水源かん養保安林 大正6年、昭和44年、昭和47年、昭和53年

保健保安林 昭和54年、平成3年、平成5年、平成13年

鳥獣保護区(特別保護地区) 平成16年

当別町当別ダム地区水資源保全地域 平成25年

2. 水源の状況

種類: 流水(当別川)、ダム貯水(青山ダム)

利用状況: 水道8,583戸 19,773人、農業用水3,150ha

水源の流量: 7,289m³/日

3. 地域の概況

豊かな自然環境を有する当地には、森の恵みを受け、大自然を満喫し、森林とのふれあいを通じて、「自然と共に生きる心」を培う場所として、日本一の規模を誇る森林レクリエーション空間の「道民の森」があり、令和5年には、キャンプや林間学習、森林浴などで約10万人もの利用者が訪れています。

また、「道民の森・神居尻地区」においては、広大な牧野跡地を元の森林へ復元するため、①企業や団体による「企業の森林づくり」や、②個人や家族、小中学校の児童・生徒達が自由に植樹を体験できる「エコ・チャレンジの森」、③多くの道民が集って行われる「北海道植樹祭」など、水源かん養機能を高めるための取組により、植樹が実施されています。当別水源の森はこれまで、水源かん養機能を高めるために、「水源地域森林総合整備事業」、「生活環境保全林整備事業」、「保安林改良事業」、「特定保安林整備緊急治山事業」、「保安林緊急改良事業」、「水源森林総合整備事業」等により整備を進めてきましたが、将来に向けて良質な水の安定的供給を継続するために、平成25年度から「水源森林再生対策事業」により荒廃した森林の整備や水土保全施設の総合的な整備を進めて、水源かん養機能の高い「森づくり」を行っています。

所在地: 北海道石狩郡当別町字青山奥

4. アクセス

車: JR学園都市線「石狩当別駅」から約40分

問い合わせ先: 北海道空知総合振興局森林室 tel 0126-22-1155